

## 平成26年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

### 【中学校国語】

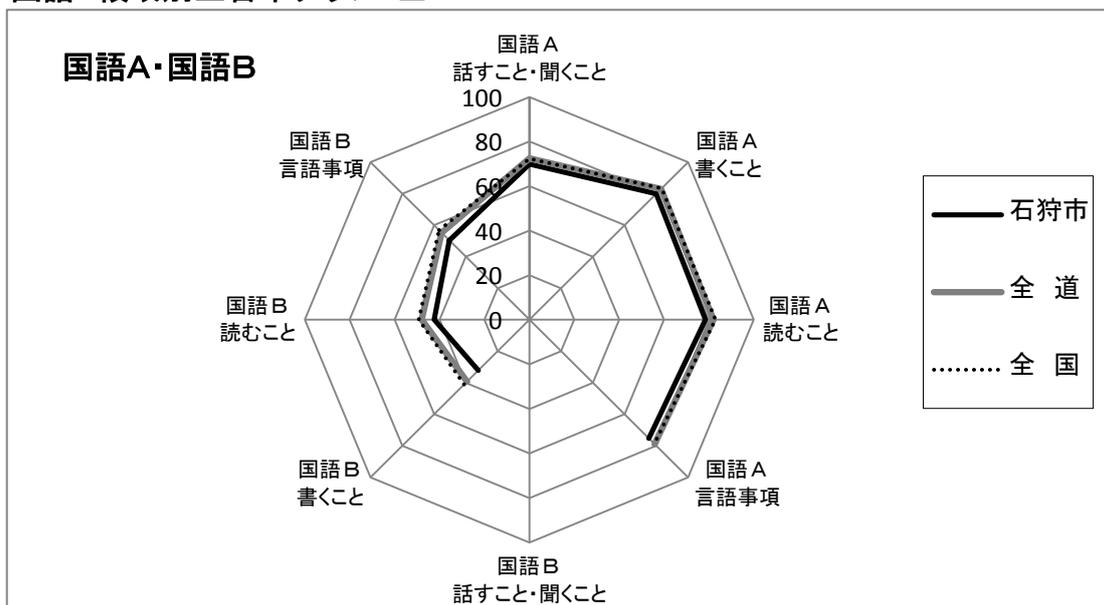
#### □ 正答率の状況 □

	国語A(主として「知識」に関する問題)		国語B(主として「活用」に関する問題)	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	25.4問/32問	79.4%	4.6問/9問	51.0%
全道(公立)	25.4問/32問	79.4%	4.5問/9問	49.9%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様 (上位)	同様	ほぼ同様 (下位)	やや低い	低い	相当低い	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様 (上位)	同様	ほぼ同様 (下位)	やや低い	低い	相当低い	
	石狩市 ; ○ 全国 ; ☆					☆									☆				

相当高い	… 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様	… -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い	… 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い	… -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い	… 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い	… -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様	… 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い	… -7ポイント以下の範囲
同様	… ±1ポイント未満の範囲内		

#### □ 国語 領域別正答率グラフ □



#### □ 国語科の概要 □

- 基礎的・基本的事項の知識理解はほぼ定着しています。
- 漢字・語句等はほぼ定着しており、日常的に活用に努めることが必要です。
- 順序立てて考え、相手の立場に立ってわかりやすく説明することが課題です。
- 自分の考えを整理し、適切な表現で書くことが課題です。
- 問題形式により回答率に差があり、記述式の無回答率が高くなっています。

## 国語 A (主として「知識」に関する問題)

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい基礎的・基本的な言語活動や言語事項に関する定着度をみる問題で構成されています。

各問題は出題の趣旨が学習指導要領の一つの指導事項に対応することが基本とされ、また、3領域1事項の全てからの出題となるように留意されています。

設問数は32問です。

### 【各領域の傾向】

- ・「話すこと・聞くこと」の領域は全道・全国とほぼ同様です。
- ・「書くこと」の領域は全道・全国よりやや低く、課題があります。
- ・「読むこと」の領域は全道・全国よりやや低く、課題があります。
- ・[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]に関しては、全道・全国よりやや低いものの、日常的に使用頻度が高い語句は意味を理解し適切に使えます。
- ・[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]のうち、基本的な漢字の「書き」は全道・全国より低く、「読み」についてはやや低い結果です。それぞれに課題があります。

### 【成果の見られる設問例】

領域	出題の趣旨		設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
話すこと 聞くこと	6一	話し合いの司会の役割を果たす	話し合いの方向を捉えた司会の役割として適切なものの選択	76.3%	75.5%	76.0%
書くこと	4一	集積材料の整理	項目として適切なものの選択	92.3%	92.6%	92.6%
漢字の 読み 書き	8一	漢字を書く	3 「うつ」す(移す)	71.5%	75.0%	73.6%
	8二	漢字を読む	2 「音響」(オンキョウ)	86.5%	92.4%	88.6%
			3 「挑む」(イド-む)	93.3%	95.8%	95.2%
語句と 活用	8三	理解と活用	力 あの人 <b>は</b> 単刀直入 <b>に</b> ものを言う	88.4%	88.5%	86.3%
	8三	理解と活用	キ 休日 <b>に</b> のびのびと羽を <b>伸ばす</b>	94.4%	93.0%	92.1%

### 【課題の見られる設問例】

領域	出題の趣旨		設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
話すこと 聞くこと	6一	互いの発言を検討する	発言を聞いて、意見の相違点を整理する。	50.1%	55.7%	54.3%
書くこと	2二	心情にふさわしい言葉に書換え	印象深く伝えるために書き換える	71.9%	79.0%	79.8%
読むこと	3三	言動の意味、内容の理解	主人公の心情を説明したものとして適切なものの選択	72.6%	77.3%	79.1%
漢字読み	8二	正しく読む	1 稚魚(チギョ)を放流する	69.0%	77.5%	77.0%
語句と 活用	8三	適切に使う	ウ 伝統的な文化を「継承」する	74.6%	80.0%	80.8%
	8五	古典と昔話	2 古文対応の言葉を昔話から抜粋	65.9%	70.1%	71.0%

### 〈指導の改善にあたって〉

- ・学習した漢字を各教科等の学習や日常の活動等で繰り返し活用するなど、定着のための機会を意図的に設定する必要があります。
- ・漢字・語句等を正確に読み書きさせるだけでなく、用法を正確に理解し文脈に即して活用することができるよう、さらに繰り返し指導に努める必要があります。
- ・目的や意図、場、相手に応じて、適切にわかりやすく文章を書くことの指導に努める必要があります。
- ・日常生活の中で、自分の考えを持ち、順序立てて考えたり、相手の立場に立ってわかりやすく説明する指導に努める必要があります。

## 国語 B (主として「活用」に関する問題)

基礎的・基本的な言語活動や言語事項に関する知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、さまざまな課題解決のための構想を立て実践し評価・改善することができるかどうかをみる問題で構成されています。  
領域が重複し、応用・発展した出題になっています。  
設問数は9問です。

- ・「書くこと」の領域では、正答率が全道・全国より相当低く、また、無答率は相当高くなっており、課題があります。
- ・「読むこと」の領域では、全道・全国より低く、課題があります。
- ・[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]は全道・全国より低く、課題があります。

### 【成果の見られる設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
読むこと	3一 必要な情報を読み取る	演者が顔を向ける方向として適切なものを選択する	50.8%	52.8%	52.0%

### 【課題の見られる設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
書くこと	2三 根拠を明確に自分の考えを書く	標語のメッセージ、表現の工夫とその効果を書く	37.5%	45.9%	48.2%
読むこと	2二 必要な情報を読み取る	答が得られるものとして適切なものを選択する	51.7%	60.1%	60.9%
言語文化 国語特質	3三 根拠を明確に自分の考えを書く	本文を根拠に人物の気持ちを想像して書く	37.1%	44.2%	46.5%

### 〈指導の改善にあたって〉

- ・自分の伝えたい内容がより効果的に伝わるよう、作成した資料を見直し、聞き手の立場に立って組み替えてみたり、相互評価したりするなど、継続して指導に努めることが大切です。
- ・目的に応じて、複数の情報から必要なものを選び取ることに課題が残ります。基礎的知識の充実とともに、共通点や相違点をまとめるなど情報を整理したり、順序立てた考え方や多面的な見方や考え方ができるよう、日常生活に関連付けた具体的な指導に努める必要があります。
- ・無答率は問題形式による差があり、記述式問題では全道・全国より高い傾向にあります。文章を書くことへの抵抗感をもたせないよう指導を工夫する必要があります。

### 教科に関する意識 (質問紙の傾向)

- ・「国語の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の 59.7%、全国の 58.2% に対して石狩市は 61.1% で、全道に比べ 1.4ポイント、全国に比べて2.9ポイント高くなっています。
- ・「国語の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の 88.2%、全国の89.0%に対して石狩市は 88.9%で、全道に比べ0.7ポイント高く、全国に比べ0.1ポイント低くなっています。
- ・「国語の授業内容はよく分かりますか」に対する肯定的な回答は、全道の 72.5%、全国の 72.0% に対して石狩市は 67.1%と、全道に比べ 5.4ポイント、全国に比べ4.9ポイント低くなっています。
- ・「読書は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の 73.2%、全国の 69.4% に対して石狩市は 76.0%で、全道に比べ 2.8ポイント高く、全国に比べ6.6ポイント高くなっています。
- ・国語の授業中の質問に関して、「目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いていたりしていますか」「意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか」「自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか」「文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか」の各設問の肯定的な回答率は、いずれも全道・全国より低くなっています。

# 平成26年度 全国学力学習状況調査 結果分析

## 【中学校数学】

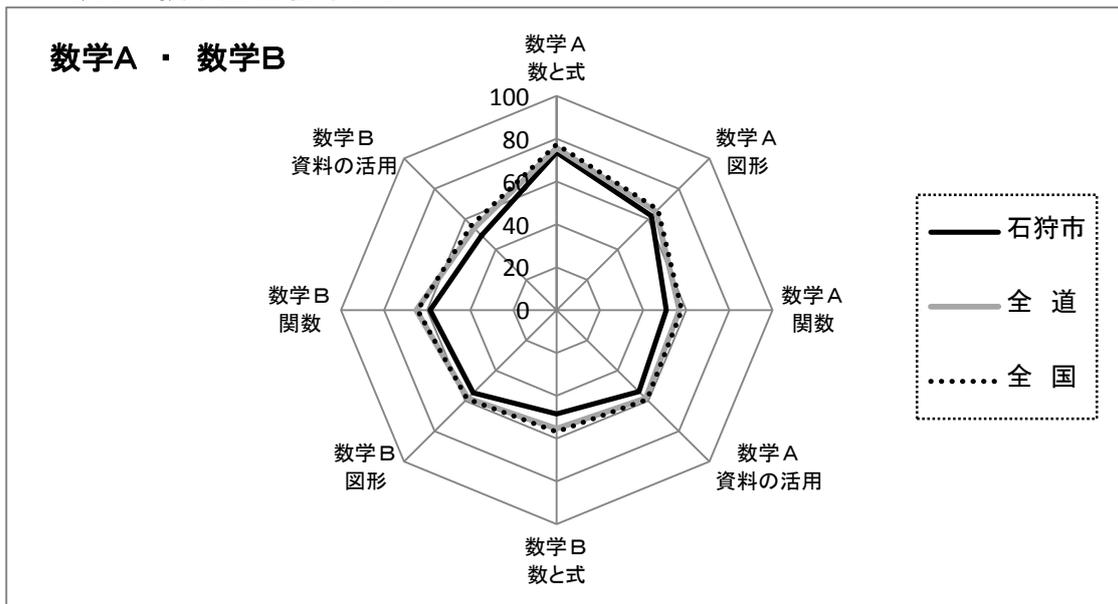
### □ 正答率の状況 □

	数学A(主として「知識」に関する問題)		数学B(主として「活用」に関する問題)	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	24.3問/36問	67.4%	9.0問/15問	59.8%
全道(公立)	23.8問/36問	66.0%	8.9問/15問	59.4%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い	
	石狩市 ; ○ 全国 ; ☆				☆			○							☆				○

相当高い	… 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様	… -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い	… 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い	… -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い	… 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い	… -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様	… 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い	… -7ポイント以下の範囲
同様	… ±1ポイント未満の範囲内		

### □ 数学 領域別正答率グラフ □



### □ 数学科の概要 □

- 基礎的・基本的事項の知識理解はほぼ定着しています。
- 基礎的知識の連携、資料の読み取り、論理的な思考に課題があります。
- [活用]や記述式問題形式に関する無回答率が高く、粘り強く取り組むことに課題があります。
- 日常的な反復学習に課題があります。

## 数学 A (主として「知識」に関する問題)

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい数量や図形についての基礎的・基本的な知識・技能の定着度をみる問題で構成されています。

小学校第6学年から中学校第2学年までに身に付けておくべきものに焦点化して出題されています。

設問数は36問です。

- ・「数と式」の基本的な事項は全道・全国よりやや低く、課題があります。
- ・「図形」の基礎的・基本的な知識理解は全道・全国より低く課題があります。
- ・「関数」の領域は、全道・全国より低く、課題があります。
- ・「資料の活用」の領域は、全道・全国よりやや低い結果です。数学で使われる言葉の意味や、文章・図の読み取りに課題があります。
- ・無答率がやや高くなっていることに課題があります。

### 【成果の見られる設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
数と式	3 (1) 等式の性質と移項の関係	一元一次方程式で、式変形として正しいものを選ぶ	89.5%	89.8%	89.7%
	3 (3) 連立二元一次方程式をつくる	着目する数量を選び、式で表す	75.3%	73.4%	74.1%
図形	5 (1) 直線と平面の平行の理解	直方体の1つの面の対角線を含む直線と平行な面を書く	81.2%	79.2%	81.0%
資料の活用	13 (2) ヒストグラムの中央値の意味	ヒストグラムから、記録の中央値を含む階級を選ぶ	50.0%	54.8%	52.0%

### 【課題の見られる設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
数と式	1 (1) 分数の除法	$3/4 \div 5/6$ を計算する	76.6%	82.3%	85.8%
	1 (2) 指数を含む数の計算	$2 \times (-5^2)$ を計算する	61.9%	65.4%	70.7%
図形	6 (3) 内角の和を求める式の意味理解	六角形の内角の和について $(n-2)$ が表すものを選ぶ	40.8%	45.5%	47.8%
関数	10 (3) 2つの数量の関係の比例判断	速さが一定のときの時間と道のりの関係の正しい記述を選ぶ	45.4%	58.6%	60.4%
資料の活用	14 (2) 樹形図を利用して確立を求める	3枚の硬貨を同時に投げたときの表裏の出る確率を求める	55.0%	59.4%	65.1%

### 【無答率の高い設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市		全道		全国	
			正答率	無答率	正答率	無答率	正答率	無答率
関数	10 (1) 比例の関係を式に表す	$x = 2$ 、 $y = 6$ の比例の式を求める	45.8%	21.1%	53.9%	14.1%	56.7%	13.0%
資料の活用	13 (1) 度数分布から相対度数を求める	通学時間の度数分布表から、ある階級の相対度数を求める	38.5%	24.3%	42.0%	18.0%	42.7%	16.7%

### 〈指導の改善にあたって〉

・ 基礎的・基本的事項の習熟には日常的に繰り返し既習事項を確認することが必須です。課題や目標を明確にして、意識的、計画的に演習させるなど、反復して定着に努めさせることが大切です。

## 数学 B（主として「活用」に関する問題）

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力をみる問題です。

- ・日常的な事象等を数学化すること
  - ・情報を活用すること
  - ・問題解決のための構想を立て実践すること
  - ・他の事象との関係をとらえること
- 設問数は16問です。

- ・個々の基礎的知識を連携させたり、論理的・発展的に考えたりすることに課題があります。
- ・無答率が高くなっていることに課題があります。

### 【課題の見られる設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
数と式	2 (3) 成立しない理由の説明	2つの偶数の商についての正しい記述を選び、その理由を説明	33.8%	41.1%	44.2%
関数	3 (2) 数量の関係を数学的に説明する	ウエーブをする人数と時間について、2つの数量の関係を説明	51.3%	63.5%	62.3%

### 【無答率の高い設問例】

領域	出題の趣旨	設問	石狩市		全道		全国	
			正答率	無答率	正答率	無答率	正答率	無答率
図形	1 (3) 数学的解釈と問題解決法を説明	図形の性質を用いて、位置を求める方法を言葉や図で説明	52.7%	23.5%	57.5%	14.5%	60.6%	12.7%

### 〈指導の改善にあたって〉

- ・基礎的知識の充実、数式等の意味・成り立ち、筋道を立てて考えることなど、課題を整理、確認し、具体例を通して繰り返し指導し、確認する必要があります。
- ・資料を読み取り、数理的な考察の方法を位置付けた学習に取り組む必要があります。
- ・日常生活から具体例を示し、数学的な考え方が導き出せるように指導する必要があります。
- ・最後まで粘り強く取り組む姿勢の大切さを指導する必要があります。
- ・数学の知識や考え方が日常生活にとってどれだけ大切であるかを、具体的な例をあげて考えさせ、理解させることが重要です。

### 教科に関する意識（質問紙の傾向）

- ・「数学の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の 56.1%、全国の 56.6% に対して石狩市は 53.1% で全道より 3.0ポイント、全国より 3.5ポイント低くなっています。
- ・「数学の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の 80.6%、全国の 82.1% に対して石狩市は 77.6% で、全道より 3.0ポイント、全国より 4.5ポイント低くなっています。
- ・「数学の授業内容はよく分かりますか」に対する肯定的な回答は、全道の 70.6%、全国の 71.5% に対して石狩市は 66.7% と、全道より 3.9ポイント、全国より4.8ポイント低くなっています。
- ・「数学ができるようになりたいと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の 90.5%、全国の 91.3% に対して石狩市は 88.8% で、全道より 1.7ポイント、全国より 2.5ポイント低くなっています。
- ・「問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」「授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の肯定的な回答は全て全道・全国より低い結果です。
- ・数学に関する質問では、全般的に全道・全国より低い傾向が多くみられます。